

ご成人おめでとうございます!

令和4年度 只見町成人式

令和4年度の只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、山村留学生17期生4人を含む新成人31人（男性15人、女性16人）が出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前に抗原検査を行う他、会場内でのマスク着用や手指の消毒などを実施しながらの開催となりました。

式では、新成人を代表して目黒響さんが渡部勇夫町長から成人証書を受け取りました。また、家族からの手紙が全員に渡され、新成人の皆さんは、照れくさそうな表情を見せながらも真剣に手紙を読み、家族からの思いに涙を流す姿も見られました。最後には、新成人を代表して目黒響さんが謝辞を述べ、只見町成人式が閉式しました。



▲家族からの手紙を読む新成人の皆さん



▲友人たちとの久々の再会に会話も弾みました

謝辞



新成人代表 目黒 響さん

本日はコロナ禍という大変な状況下の中、このような盛大な式を開催していただき、心より感謝申し上げます。

私たちは、学生として社会の勉強をしている人、就職して毎日仕事に奮闘している人、まだ将来の夢を迷っている人、様々です。

おかれている立場は違えど、私たちはこの只見町というふるさとで生まれ育った仲間です。この先、挫折することがあるかもしれませんが、只見町というふるさとがあります。支えてくれる家族も、地域の方々もいます。仲間がいます。そんな只見町で、成人式を迎えることができ、本当に嬉しく思います。

成人を迎えた今、大人という自覚を持ち、責任の持てる社会人として歩いていくという決意をここに誓います。どうか今後とも、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

「18歳の酒」project



プロジェクト
「18歳の酒」projectとは、只見高校・南会津高校の3年生を対象に地元の“ものづくり”に直に触れてもらいたいという想いにより始まったプロジェクトです。

高校3年生の時に「酒米づくり」と「酒造り」を体験します。出来上がったお酒は2年間貯蔵し、酒づくりを体験した方に成人式でプレゼントされます。

当日は、渡部町長から参加者代表の鈴木美羽さんに「18歳の酒」が手渡されました。

町長からのメッセージ



本日は、誠におめでとうございます。

只見高校野球部が今年の春のセンバツ大会に出場しました。「雪がいっぱい降るから、過疎の町だから」という環境を嘆かず、環境を日常として受け入れ、ひたむきに自分たちができる事をやり切ろうという日々の努力の先に甲子園の切符をつかみ取りました。

改めてこの姿勢に学びながら、人物本位で自然環境と文化を活かし持続的な産業活動と町づくりを目指してまいります。

そこで皆さんにお願いがあります。只見町は、もっともっと地域の魅力を磨き上げ、持続的な町づくりに取り組んでまいりますので、見守ってください。そして皆さんのお力を貸してください。それは今すぐでなくても構いません。近い将来でもよいので、只見町のまちづくりの力になっていただける日がくることを願っています。

これからは、成人として自分の行動や言葉に自覚と責任をもち、そして、それぞれの目指す未来を歩んでいってください。

只見町は、いつまでも皆さんを応援し続けています。

夢に向かって

参加した皆様から夢や目標を教えてくださいました。夢に向かってこれからも頑張ってください。

※撮影にご承諾いただいた方のみを掲載しております。

実習頑張る!

次年度100億

美味しい料理を作る!

体重減量

地域の安心安全

県民の安心安全

立派な理容師になっておばあちゃんを頼ぐ!